

# 第9回 市長フォーラム

## 都市自治体の地方分権戦略

### 趣旨・目的

平成 21年の衆議院総選挙の結果、歴史的な政権交代が起こった。鳩山新内閣においては、地域主権を確立し基礎自治体を重視するとしており、全国の市長も、新内閣の発足により地方分権改革が大きく前進することを期待している。現在、地方分権改革は道半ばであり、都市自治体としては適切な対処が必要である。

そこで、今回のフォーラムでは、都市自治体の地方分権戦略のあり方について議論し、将来を見据えた都市自治体としての心構えについて考えることとしたい。

**主 催** 全国市長会 財団法人日本都市センター

**開催日時** 平成 21 年 11 月 19 日 (木) 15:15 ~ 17:15

**開催場所** 全国都市会館2階 大ホール 東京都千代田区平河町 2-4-2

**テ ー マ** 「都市自治体の地方分権戦略」

### 進 行

15:15	開 会
15:20	パネルディスカッション 「都市自治体の地方分権戦略」 ① 地方分権改革の現状と課題 ② 国と地方の協議の場のあり方 ③ 当面する国の主要施策への対応 ④ 都市自治体としての心構え フロアーからの意見、質疑応答等
17:15	閉 会

・全国市長会 企画調整室

〒102-8635 東京都千代田区平河町 2-4-2 03-3262-2312

・財団法人日本都市センター 研究室

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-1 03-5216-8771

# パネルディスカッション (15:15~17:15)

## コーディネーター

青山 彰久 (あおやま あきひさ)

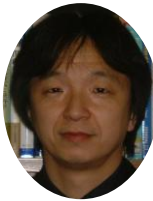


読売新聞東京本社編集委員

信濃毎日新聞社を経て1988年に読売新聞社に入社。東京本社地方部、解説部次長などを経て2007年4月から編集委員。地方自治、地方財政、分権改革を担当。日本自治学会理事・企画委員。千葉大法経学部非常勤講師など歴任。著書に『よくわかる情報公開制度』(法学書院)、『住民による介護・医療のセーフティーネット』(東洋経済新報社、共著)など。

## パネリスト

小西 砂千夫 (こにし さちお)



関西学院大学大学院経済学  
研究科・人間福祉学部教授

1983年関西学院大学経済学部卒業。同大学大学院経済学研究科博士課程修了。博士(経済学)。政府税制調査会専門委員、総務省「市町村の合併に関する研究会」座長、「定住自立圏構想研究会」座長代理などを歴任。主な著書に『地方財政改革の政治経済学』『自治体財政のツボ』『基本から学ぶ地方財政』などがある。

名和田 是彦 (なわた よしひこ)



法政大学法学部教授  
・総務省地域力創造に関する  
有識者会議委員

1978年東京大学法学部卒業後、1983年同大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得退学。横浜市立大、東京都立大を経て2005年4月から法政大学法学部教授。専攻は法社会学、コミュニティ論。これまでたびたびドイツを訪れ、住民参加と都市内分権の実態について調査している。第29次地方制度調査会委員、総務省新しいコミュニティのあり方に関する研究会座長などを歴任。主な著書に『コミュニティの法理論』などがある。

横道 清孝 (よこみち きよたか)



政策研究大学院大学教授・地  
域政策プログラムディレクター

1975年東京大学法学部卒業後、同年自治省入省。1980年和歌山県地方課長、1983年国土庁地方都市整備課課長補佐、1984年自治省政治資金課課長補佐を経て、1988年埼玉大学大学院政策科学研究科助教授、1997年政策研究大学院大学助教授、2000年同大学教授。2007年日本都市センター「基礎自治体の将来像に関する研究会」座長、また同年より総務省過疎問題懇談会委員に就任し、現在に至る。専攻は、地方自治論。主な著書に『地方制度改革』などがある。

倉田 薫 (くらた かおる)



池田市長  
・全国市長会副会長

関西大学法学部卒業。1971年池田市職員(財政課)、1975年に26歳で池田市議会議員に初当選。連続5期市議会議員を務め、1995年池田市長に初当選、現在4期目。中央環境審議会委員、大阪府市長会会長、日本下水道協会会長等を歴任。「小さくとも世界に誇れる池田」をスローガンとし、2005年に「池田市みんなで作るまちの基本条例」、2007年には「池田市地域分権の推進に関する条例」を制定。「日本初・池田発の地域分権制度」により、市民のための市政を主眼とする地域分権社会の構築に取り組んでいる。著書は『首長の使命-ユニーク市長の地方自治ルネッサンス-』。

横尾 俊彦 (よこお としひこ)



多久市長  
・内閣府地方分権改革推進委員  
会委員

慶應義塾大学法学部卒業後、松下政経塾(第1期生)入塾、同塾の指導塾員、広報担当を歴任。1997年より多久市長に就任。現在4期目。佐賀県市長会会長、全国青年市長会会長、九州市長会副会長、全国市長会副会長を務め、2007年4月より内閣府地方分権改革推進委員会委員に就任。2009年6月より全国後期高齢者医療広域連合協議会会長に就任。小さくともキラリとひかるまちづくり「住みたい美しいまち多久」の創造を目指している。共著に『国の常識は地域の非常識』、『地域から日本を変える』などがある。